

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立前田小学校 第3学年 61名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（社会） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの住んでいる札幌市について、土地の様子や施設、古くから残る建造物などを観察、調査し、地域の様子は場所によって違いがあることを考える。</li> <li>オリンピックミュージアムでの模擬体験や元オリンピック選手の話聞くことで、オリンピック・パラリンピックの意義について考える。</li> </ul>
5 取組内容	<p>○指導計画</p> <p>【社会 札幌市の様子 8時間扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたい場所や調べる方法を考え、札幌市の土地の様子や施設について学習し、調べたことをまとめる。</li> <li>オリンピックミュージアムで元オリンピック選手の講話を聞きオリンピックの意義について学ぶ。</li> </ul> <p>【体育 シットングバレーに挑戦！ 1時間扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピック種目の一つである「シットングバレー」について学び、風船を使って、実際に競技に挑戦する。</li> </ul> <p>○取組の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校外学習では、大倉山展望台から札幌の全景を観察した。 「先生、札幌ドームが見えた！」「豊平川が見えたよ。すごく大きい！」と子どもたちは興味深く市内の様子を観察していた。また、地図上では分からなかった札幌市の広さを実感し歓声を上げた。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピックミュージアムでは、スケルトンの稲田さんの話を聞かせていただいた。競技に向けての努力や競技を続けることの価値などについてのお話から、オリンピックの意義や目標をもって物事に取り組むことの大切さ、将来の夢などについて考えることができた。</li> </ul> <p>右：オリンピックミュージアムで競技の模擬体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• パラリンピックの競技種目の一つである「シッティングバレー」最初は戸惑いながらも、コツをつかむにつれて、少しずつ競技の楽しさを味わうことができた。「脚を使えない」不自由さを感じることで、パラリンピックに参加する人たちの努力や苦労について感じ取った。</li> </ul>	 <p>上：稲田さんとの楽しいひととき</p> 
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大倉山展望台から札幌市の全景を眺め、地図でしか感じることのできなかった札幌の街の様子を自分の目で確かめ、その広さや様子について実感することができたこと。</li> <li>• 伝統ある世界的なイベントであるオリンピックが札幌市で開催された歴史があることを知り、札幌への愛着を深めると共に、オリンピックやパラリンピックの意義やそこで努力する人たちについて理解を深めることができたこと。</li> </ul>	
7 実践において工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事前の学習において、学習のポイントをしっかりと押さえながら学習を進め、札幌市へ対象を広げても、興味関心を持続できるようにした点</li> <li>• シッティングバレーにおいて、誰もが楽しめるようにルールや扱うボールを工夫した点</li> </ul>	
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「大倉山」という環境を活用することで、オリンピック・パラリンピックを3年生の社会科の学習に位置付けられると考えたが、3年生にとっては難しい内容であり、「札幌市の学習」「オリンピックやパラリンピックの学習」が関連付いたものにはならなかった。</li> <li>• 札幌市でオリンピックが開催されたのが冬季であることや大倉山オリンピックミュージアムが冬季競技中心の展示であることから、取組の開催時期が2学期後半から3学期に開催できることが望ましい。</li> </ul>	
9 今後の取組について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 北国札幌の冬の代表的な競技である「スキージャンプ」を話題にするなどして、スポーツを通じた冬の楽しみ方を紹介していく。</li> <li>• 2020年開催の東京オリンピックやパラリンピックに向けて、道徳や総合的な学習などの取組を通して、開催の意義やそこに携わる人々の関わりについて児童の関心を高める。</li> </ul>	